



TPP Q&A 中級編

Q 交渉に入ると抜けられないのでは？

A 解答

**交渉に入るからには覚悟を決めて交渉すべきです。
しかし、受け入れられないものについては、合意しないことも十分可能です。**

- 当然ですが、TPPは国際交渉ですから、入るからには覚悟を決めて、日本の国益のために努力すべきです。
- しかし、結果として、国益を損ねるので合意に加わらないという決断をすることは、どの国にもありえます。日本は決裂を辞さない覚悟で、京都議定書の単純延長に反対し、一方的に不利な事態を回避しました。
- 過去の例を見ても、国際交渉が全てまとまっているわけではありません。
- もし、協定に署名した後でも、国会で承認されない限り、効力は発生しません。

交渉がまとまっていない例

■日韓 FTA 交渉

2003年 交渉開始 2004年 交渉休止（日本から交渉再開を働きかけ中）

■EU・ASEAN FTA 交渉

2007年 交渉開始 2009年 交渉休止（EUはASEAN各国との個別交渉に切り替え）